

宮城教育大学附属小学校教育後援会

# いずみ後援会 ってなあに？



いずみ後援会のマスコットキャラクター「ハリネズミの「ハッピー」と「キュー」です。キーウイパードの「キュン」です。どうぞよろしくお願いいたします。

附属小の大きなハテナ？



後援会ってなに？

「教育後援会」と呼ばれるもので、全国の附属学校（国立大学に附属した学校）にあり、各々独自に運営されています。本校の教育後援会は「いずみ後援会」といいます。

附属小にしかないの？

県内では、宮城教育大学の附属学校（幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校）、それぞれに後援会があります。宮城県立・仙台市立などの公立学校にはありません。

PTAとは別の？  
誰がやっているの？

PTAが学校単位で結成された教育組織であるのに対し、教育後援会は子供たち（在校児童）の保護者や関係者によって設立され、運営している学校とは独立したサポート組織です。国からの要請を受けて、全国の附属学校で独自に結成され、本校のいずみ後援会は平成12年（2000年）に設立されました。

なんで必要なの？

学校運営には、多岐にわたりお金がかかります。例えば、

**最低限**

- ・施設&設備費
- ・人件費・光熱費・医薬品費
- ・印刷費・消耗品費・図書費
- ・施設や物品の修繕&維持管理・・・etc.

仙台市の  
予算

市内の公立小学校



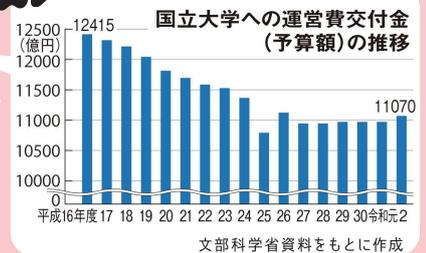
附属小学校



宮城教育大学

運営費  
交付金

年々減少・・・



ゆたかな  
教育活動  
教育環境

先進的な教育  
(ICT教育, CS授業など)

設備&機材の充実  
その維持管理

資質豊かな  
教員  
(専門知識, 教養,  
実践能力)

※  
寄付金

※奨学寄付金は全額、大学に寄付という形で計上され一旦国庫に納入された後に、同額が文科省から大学に交付、その経理が委任されます。決済は大学が行いますが、全額附属小学校のために使用されます。

いずみ後援会は、  
学校やPTAではまかなえない  
資金面の補助をしています。

直接  
支援

附属ならではの  
豊かな教育環境を  
支えるサポーター

なので

④ 賛助金  
1,000円  
(二口以上)  
賛助会員より  
(随時受付)



いずみ  
後援会

- ① 入会金 30,000円 (入学時納入 (在学中に1回のみ))
  - ② 年会費 2,000円 (在学中毎年納入)
  - ③ 奨学寄付金 1,000円 (二口以上) (在学中毎年納入 (追加随時受付))
- ・後援会費として管理  
・毎年積立 (いずみ基金) ※銀行口座

いずみ後援会からの支援例。ほんの一例です。

## タイミングを逃さず 支える

学校設備など、予算がつくのを待ってても  
なかなか進まない・・・順番が・・・時期が・・・  
を、毎年の積立で、叶えます。

### 2005年 附小ロード

校舎と体育館を結ぶ、屋根付き渡り廊下です。  
雨の日も濡れずに、靴を履き替えることなく、  
校舎から体育館へ行ける。  
今のあたりまえは、当時の「あったらいいな」を  
体育館改修工事と同時に、実現したもののです。



## 附属小らしさを 支える

2大行事「なかよし運動会」と「合唱の会」。  
日々の練習で、道具で、晴れの舞台上、  
附属小らしさを、ずっと。

### 2016-20年 オルガン

教室で、毎日の合唱を支えているオルガン。30年以上  
前からずっと同じものを、修理を重ねてなんとか使い続  
けていました。それを数年かけて、全学年・全教室分、  
最新の機種にリニューアルしました。

### 毎年 合唱の会 会場費

曲に出会い、声と心を通わせ、みんなで一つになる  
合唱の会。最高の舞台を、毎年用意しています。

### 毎年 よさこい用「鳴子」

新1年生全員に、マイ鳴子を配布します。  
名前を書いて、大きな声で、みんな一緒に、  
元気に練習に励みます。卒業するまで  
めいっぱい使います。



### 2019年 全館エアコン

大学からの設置プロジェクトに、積み立てて  
あった「いずみ基金」をプラスして、仙台  
市内のどの公立学校よりもいち早く、  
工事に着工。  
夏本番を前に、校舎全館に  
完備することができました。

大きな  
お金が  
必要

豊かな  
教育活動  
教育環境

支えるキーワードは  
「しなやか」な  
対応

らしさ

プラス  
α

公開研究会  
(1年生 算数)

### 同じ「色板」を黒板で

子供達が持つ色板と、裏表が同じ仕様の  
ものを先生が黒板でも使うというこだわり。  
すると、子供達の思考の連動性と視覚的認識  
のしやすさが格段にアップ！  
学習効率や思考の発展性、授業の  
進展もより効果的になったそうです。

### 「平ら」だからできた

公開研究会  
(3年生 理科)

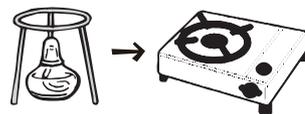
「底面が平らであること」にこだわって探したという  
小さな手回しのオルゴール。音をより大きく響かせるため  
子供たちが目を輝かせ、壁に、机に、物に、様々な場所に、  
オルゴールを当てて、実験を繰り返していました。  
教材へのこだわりが、学びの現場を豊かにしていました。

「こんな授業をしたい」先生方の  
思いやこだわりを、教材購入で支えます。  
子供たちにとっての豊かな学びは、そこから。

## 授業に込める 「思い」を支える

### 2015年 理科実験用 カセットガスコンロ

平成27年度の理科の教科書から、アルコールランプ  
に代わり「カセットガスコンロ」が推奨されました。  
本校でも早急にカセットガスコンロへの切替えが望ま  
れるも、大学からの予算では購入が叶わず。先生方から、  
いずみ後援会に相談がきました。年度途中での購入依頼  
でしたが、後援会費により迅速な切替えが実現しました。  
アルコールランプよりも炎の調節が自在になり、安全面が  
飛躍的に向上しました。また、身近なものなので児童にも  
取扱いやすく、実験・観察させたい事象そのものために  
使える時間が増えた、というメリットも生まれたそうです。



「安全」「安心」「効率」「効果」etc.  
すぐに対応することが、  
子供たちのためになるのならば。

## 迅速さで 支える



皆様のいずみ後援会への御協力が、子供たちのためにあることを御理解いただき、温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。